小川赤十字病院 化学療法レジメン

対象疾患名 乳がん

申請レジメン名

PER+HER+ドセタキセル

催吐リスク

軽度

放射線治療併用 □有 ☑無 1コースの目安 1コース 21日

N Engl J Med 366:109-119,2012 根拠文献 投与回数上限 □有(回)☑無

## レジシカ突

<u> </u>	SDIYAY Day																$\neg$										
No.	抗がん剤名 (溶解液等を含む)	標準的投与量	投与量注釈	投与方法	投与時間 (投与速度)	上限量	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
1	カロナール錠200mg	2錠		内服	パージェタ投与 30分前		0																				
2	生理食塩液	100ml		点滴静注	ライン確保・ フラッシュ用		0																				
3	パージェタ点滴静注 生理食塩水	(初回)840mg (2回~)420mg 250mL		点滴静注	*初回60分 2回目以降~30分		0																				
4	生理食塩液	100ml	*2回目以降 は省略	点滴静注	60分		0																				
5	トラスツズマブBS点滴静注 大塚生食注	(初回)8mg/kg (2回~)6mg/kg 250mL	*注射用水で21mg/mLに溶解	点滴静注	*初回90分 2回目以降~30分		0																				
6	グラニセトロン点滴静注バッグ デキサート注射液	1mg/50ml 6.6mg		点滴静注	15分		0																				
7	ドセタキセル注 生理食塩液	75mg/ <b>m</b> i 250ml		点滴静注	60分		0											,									

## 注意事項

- \*レジメン名は、似た名称を避けるため変更することがあります。
- \*このシートは1コース分が記載されています。 \*1回投与量の上限がある場合には上限量が記載されます。

|備考(化学療法に必ず併用される特殊な手技・化学療法の中止基準)

デキサメタゾンは、耐糖能等によって適宜増減